

表題 「国際交流留学生プラザ(Hisao & Hiroko TAKI PLAZA)」～国際交流・地域貢献・世代間交流～

お茶の水女子大学の「国際交流留学生プラザ (Hisao & Hiroko TAKI PLAZA)」を紹介する。

国際交流留学生プラザは、国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として、2019年に建設された。設計は、隈研吾建築都市設計事務所により、自然豊かなキャンパスとの調和を図りながら進められた。

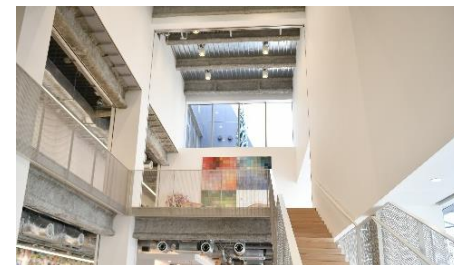
各階には日本画家の中島千波氏、現代美術家の日比野克彦氏、金工作家の宮田亮平氏によるパブリックアートが設置され、アートと学生生活が一体となった文化的な場所でもある。

国際交流のための自由で開放的な空間に加え、大学および附属学校園の5同窓会の集いの場としての同窓会コモンズを併設し、お茶の水女子大学のシンボルとして、多くの方々に利用されている。



～ 知る・憩う ～

1階は、Ochaインフォメーションや歴史資料館に加えて、留学生の交流拠点となる国際教育センターやラウンジ、附属学校園同窓会の事務室や会議室、一般の方もご利用いただけるカフェなどがあり、様々な交流が生まれている。



～ 集う ～

2階は、最大で120人が収容できる多目的ホールや、交流会や発表会を行うことができるコモンズがあり、学内外の行事やイベントで多くの人々が訪れている。



～ 学ぶ ～

3階は、海外と時差を超えた学びの交流ができる最新のテレビ会議システムを備えたセミナー室や、日本文化教室などを開催できる和室の研修室、キッチン・ダイニングエリアなどを配置している。また、大学同窓会の事務室もあり、多様な交流が促進されている。

